言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った
国語科の授業実践例

福山市立深津小学校

1　学年・単元名　第２学年　ことばって，おもしろいな「音とようすをあらわすことば」「ことばであそぼう」

2　本時の目標　絵の中の情報をもとに，音や声，様子を表す言葉を考えることができる。
また，自分で考えた言葉を使って，絵に合った表現を考えることができる。

3　本時の工夫点　想像を膨らませながら漫画（絵）を分析させ，考えたオノマトペを発表させる。

4　学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1　前時の学習を想起し，本時のめあてを確認する。	・「音を表す言葉」「様子を表す言葉」について想起させる。	
	オノマトペ発見！ 絵の中から，どんな音やどんな声，どんな様子が発見できるだろう。	
2　「よく使われる言い方」「おもしろい言い方」について音読する。	・オノマトペの種類や意味について考えながら読み取らせる。	
3　漫画１から，音や声，様子を表す言葉を考えて発表する。	主語をつけて結論先行で，どんな言葉を考えたのか，考えた筋道や理由をつけて発表させる。	
4　漫画２を見て，場面の様子を確認する。	絵の中から根拠を見つけ，場所について理由をつけて発表させる。	
5　漫画２から，音や声，様子を表す言葉を考えて書く。	**「様々な角度から物事を見る技術」** **「情報を的確に分析する技術」** 絵を見て自分なりに想像を膨らませ，根拠を明らかにしながらオノマトペを考えさせる。	・絵の中の情報をもとに音や声，様子を表す言葉を考え，表現できる。（ワークシート・発言）
6　考えた言葉を交流する。 ・　二人で ・　全体で	主語をつけて結論先行で，どんな言葉を考えたのか，考えた筋道や理由をつけて発表させる。 ・友達の考えをじっくり聞かせることで，同じ言葉でも根拠の違う考えを交流させ，言葉のイメージを広げさせる。	
7　本時の学習を振り返る。	・学習して思ったことや分かったことをワークシートに書かせる。	